

ねりまの文化財

東京文化財ウィーク2016

11月1日から11月7日までの一週間は「文化財保護強調週間」です。この期間中は、全国で文化財保護と活用の推進を図るため、各種事業が行われます。

東京都では、より多くの皆様に文化財を身近に感じていただくために、強調週間の前後を「東京文化財ウィーク」として都内にある文化財の公開事業と企画事業を実施します。文化財の公開については、通年公開と、ウィーク期間中の特別公開とがあります。区では、企画事業として遺跡の解説会を行います。

ガイド冊子「東京文化財ウィーク」特別公開・企画事業編、通年公開編、9月下旬に伝統文化係(区役所本庁舎8階)・石神井公園ふるさと文化館等で配布する予定です。

企画事業 尾崎遺跡の展示解説会—練馬の中世遺跡—

尾崎遺跡は、石神井川左岸の低地部から台地部に広がる遺跡です。春日小学校の建設に先立ち、昭和54年から55年に発掘調査が行われ、旧石器時代から近世までの各時代の遺跡が発見されました。遺跡は都指定史跡、出土品は区指定文化財となっています。

今回は、尾崎遺跡の出土品に加えて、練馬城跡、石神井城跡、外かく環状道路関連遺跡など中世遺跡の出土品を特別に展示し、解説します。

【解説会日時】10月30日(日)

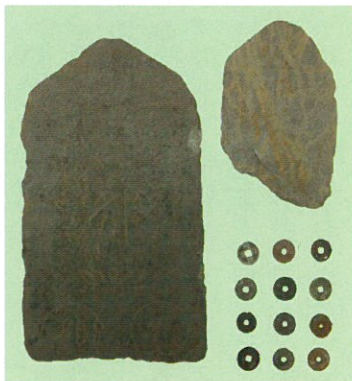
午前10時・午後2時(全2回)

※各回60分程度

【場所】春日小学校 1階資料展示室

(春日町5-12)

【交通】練馬春日町駅下車 徒歩8分



尾崎遺跡出土の板碑・銭

中世遺跡の出土品は、10月8日(土)から11月27日(日)まで展示します。見学を希望される方は、事前に春日小学校受付に電話(03-3926-7102)で予約し、当日学校受付に申し出てください(公開は土・日・祝日の午前10時から午後4時まで)。

【問い合わせ】伝統文化係

公開しています！
国指定・登録、都指定の文化財

●練馬白山神社の大ケヤキ
(国指定天然記念物)

【所在】練馬4-2 白山神社境内

【交通】豊島園駅下車 徒歩5分

●三宝寺池沼沢植物群落
(国指定天然記念物)

●石神井城跡(都指定史跡)

【所在】石神井台1-27ほか

都立石神井公園内

●牧野記念庭園(牧野富太郎宅跡)
(国登録記念物)

【交通】石神井公園駅下車 徒歩15分

【開園時間】午前9時〜午後5時

●小野蘭山墓及び墓誌
(都指定有形文化財)

【所在】練馬4-27 迎接院墓地内

【交通】豊島園駅下車 徒歩5分

●池永道雲墓(都指定旧跡)

【所在】練馬4-27 受用院墓地内

【交通】豊島園駅下車 徒歩5分

●東高野山奥之院(都指定史跡)

【所在】高野台3-10 長命寺境内

【交通】練馬高野台駅下車 徒歩5分

●丸山東遺跡方形周溝墓出土品
(都指定有形文化財)

【所在】石神井公園ふるさと文化館

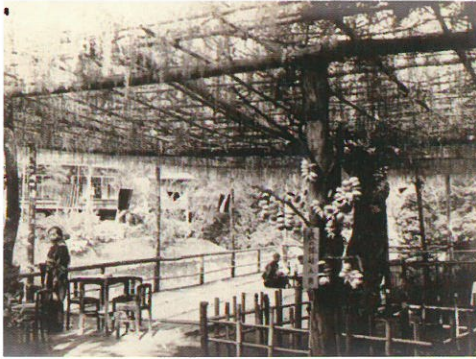
(2ページ参照)

東京文化財ウィーク2016 企画事業
石神井公園ふるさと文化館 分室

●特別展「夢の黄金郷『遊園地』」

―思い出のメリーゴーランド―

遊園地は、庭園や温室、ボート遊びなどの屋外行楽施設からはじまります。大正期以降、遊園地は鉄道沿線の開発に関わりながら、日帰りの行楽地として発展していきました。遊園地にウォーターシュートやメリーゴーランドなどの機械遊具が取り入れられていくと、次第に子どもが主役の場所となってきました。本特別展では、区内遊園地「としまえん」や練馬区旭町にかつてあった遊園地「兎月園」を中心に、遊園地の歴史をたどります。



兎月園 昭和初期 高松保久氏提供

【期間】9月17日(土)～11月13日(日)
【場所】石神井公園ふるさと文化館

【特別展観覧料】一般300円、高校生・大学生200円、65歳以上75歳未満・障害者手帳をお持ちの方150円、中学生以下と75歳以上無料

●特別展関連講演会「日本における遊園地のあゆみ―文化と娯楽のワンダーランド―」

【日時】10月30日(日)午後2時～4時
【場所】石神井公園ふるさと文化館
【講師】平野正裕氏(横浜市史資料室主任調査研究員)

【定員】100名(9月11日から電話申込・先着順)

●特別展関連イベント「遊園地を科挙しよう!」

超伝導ジェットコースターの実演とホバークラフトの乗車体験を通して、楽しみながら遊具の仕組みを学びます。

【日時】11月3日(木・祝) 午後2時～4時

【場所】石神井公園ふるさと文化館
【講師】八木一正氏(岩手大学名誉教授)

【定員】なし(入退場自由)。ただし、ホバークラフトは当日受付。

●分室コレクション展「和のくらし和のことば」

生活様式の変化で、失われつつある日本の生活用品と、それに寄り添う日本語をともにご紹介する展覧会です。留めておきたい、美しい日本を探ります。

【期間】7月3日(日)～10月23日(日)

【場所】石神井公園ふるさと文化館 分室

【展覧会観覧料】無料

●分室コレクション展「柳生もの」の系譜―時代小説へのいざない―

時代小説の分野で、柳生宗矩などを主人公とした「柳生もの」と呼ばれる小説があります。多くの作品が生まれ、読み継がれるその魅力を探ります。

【期間】10月29日(土)～29年2月12日(日)
【場所】石神井公園ふるさと文化館 分室

【講師】道家祥平氏(株式会社マヌ都市建築研究所主任研究員)

【定員】20名(10月1日から電話申込)

●石神井城跡発掘パネル展

石神井城跡(中世豊島氏の城跡)の発掘調査の様子や成果などを特別公開中の主郭内にて写真パネルで紹介いたします。

【期間】10月29日(土)～11月6日(日) 午前9時30分～午後4時30分

【場所】都立石神井公園内石神井城跡(石神井台1丁目)

●特別公開「小野蘭山墓誌」

江戸時代中期の本草学者(博物学者)である小野蘭山(一七二九～一八一〇)の墓誌(都指定有形文化財)を特別公開します。

【期間】10月20日(木)～11月8日(火)

【場所】石神井公園ふるさと文化館 常設展示室(入館料無料)

【申込・問合せ】

石神井公園ふるさと文化館
住所 練馬区石神井台5-12-16
電話03(3996)4060

石神井公園ふるさと文化館分室
住所 練馬区石神井台1-33-44
電話03(5372)2572

休館日…月曜日(月曜日が祝休日の場合はその翌平日)・年末年始

開館時間…午前9時～午後6時

詳細はふるさと文化館ホームページ
(http://www.neribun.or.jp/furusato.html)をご覧ください。



元和3年(1617)「新陰流画目録」の写本より

●講演会「旧内田家住宅」から練馬の原風景を探る(東京9区文化財古民家めぐり連携事業)

旧内田家住宅(区指定有形文化財)についての講演会と見学を行います。

【日時】11月6日(日) 午後2時～3時30分

【場所】石神井公園ふるさと文化館 旧内田家住宅

【期間】7月3日(日)～10月23日(日)

【場所】石神井公園ふるさと文化館

白山神社囃子の締太鼓

練馬区内の各地には神社の祭礼などで演じられる祭囃子が伝わっています。白山神社(練馬4-2)の二年に一度の大祭では、白山神社囃子(区登録無形民俗文化財)が演じられます。

白山神社囃子は、かつて白山神社の祭礼に奉納された神楽囃子を地元の有志が引き継いだものといわれています。第二次世界大戦の頃から中断しましたが、昭和49年(一九七四)に豊玉囃子に学び、復活しました。白山神社囃子連では、かつて使用していた締太鼓を2つ保管しています(現在は新しいものを使用)。

締太鼓の大きさは2つとも、皮面の直径36.4cmほど(12寸)、胴の高さ15.2cmほど(5寸)です。締太鼓の胴内部には、「囃子連名」、「師書」、「御太鼓師」、製作年月が墨書されており、白山神社囃子の履歴を伝えます。

製作年月は、「明治十二年卯ノ五月日」「明治十二年卯八月日張之」とそれぞれに墨書されており、1つは明治12年(一八七九)5月、もう1つは明治12年8月であることがわかります。白山神社囃子が神楽囃子から引き継がれた時期は不詳です。しかし、この締太鼓が製作された明治12年にはすでに演

じられていた様子がうかがわれます。

奉納者は、「囃子連名」として21名の氏名が墨書されています。締太鼓の胴の縁に「東京府武蔵国下練馬村囃子連中」「武蔵国豊島郡下練馬村字谷戸村」と墨書されているので、奉納者は白山神社周辺の下練馬村谷戸の人たちであることがわかります。明治12年8月製作の締太鼓には、囃子連の二人の人物の肩書きとして「拍子」と墨書されており、囃子を上演する際の役割がわかります。

「師書」として、小泉八郎と野口甚五郎が墨書されています。「師書」とは師匠のことと考えられ、おそらくこの二人は白山神社の囃子連を指導していた人物と考えられます。

「御太鼓師」は太鼓の製作者のことです。「浅草区亀岡町壱丁目石垣孫市直正」の墨書があります。石垣孫市は、江戸・東京の高名な太鼓師で、「孫市」は、太鼓師の石垣家が世襲していた通称と思われます。石垣孫市が製作した太鼓としては、明和7年(一七七〇)製作の土浦城楼門の長胴太鼓(茨城県土浦八坂神社所蔵)、天保9年(一八三八)張替の安中城太鼓櫓の長胴太鼓(群馬県安中ふるさと学習館で展示)、明治



左：明治12年5月

右：明治12年8月

11年(一八七八)製作の浅草猿若町市村座の長胴太鼓(台東区の宮本卯之助太鼓館で展示)が残されています。

安中城太鼓櫓の長胴太鼓の胴内部には、石垣孫市が江戸城御用達御太鼓師の墨書があり、石垣孫市は江戸でも有力な太鼓師であったことがわかります。また、浅草猿若町市村座の長胴太鼓の製作者は、年代的に見て、白山神社の締太鼓を製作した石垣孫市直正であると思われる。

このように、この締太鼓は明治10年代にはすでに白山神社囃子が多くの人に支えられ、演じられていた事実を物語るものといえます。江戸の高名な太鼓師にこの締太鼓の製作を依頼したことから、囃子連の人たちの白山神社囃子にかけた意気込みが感じられるのではないのでしょうか。

第28回練馬区伝統工芸展

区内で継承されている匠の技の数々が、今年も練馬駅隣接のココネリに集結します。ぜひ足をお運びください。

◇日時 10月28日(金)～30日(日)

午前10時～午後6時

◇会場 練馬区立区民・産業プラザ

[Coconeri(ココネリ)3階]

(練馬1-17-1)

◇出展種目 江戸刺繍／江戸木彫刻／

江戸筆／江戸表具／尺八／

手織／東京額縁／東京彫金／

東京染小紋／東京手描友禅／

組紐／螺鈿時絵／和裁／陶芸

展示・実演・販売・体験ほか

◇主催 練馬区伝統工芸会

練馬区・練馬区教育委員会・

練馬区産業振興公社・練馬区

観光協会



昨年の会場の様子

文化財保護推進員の活動を紹介します!

練馬区では、昭和63年から文化財保護条例に基づき、文化財保護推進員制度を導入しています。平成28年4月1日付で、第15期練馬区文化財保護推進員として、12名に委嘱しました。再任の10名に加え、伊藤氏、越氏が新しく就任しました。任期は2年です。

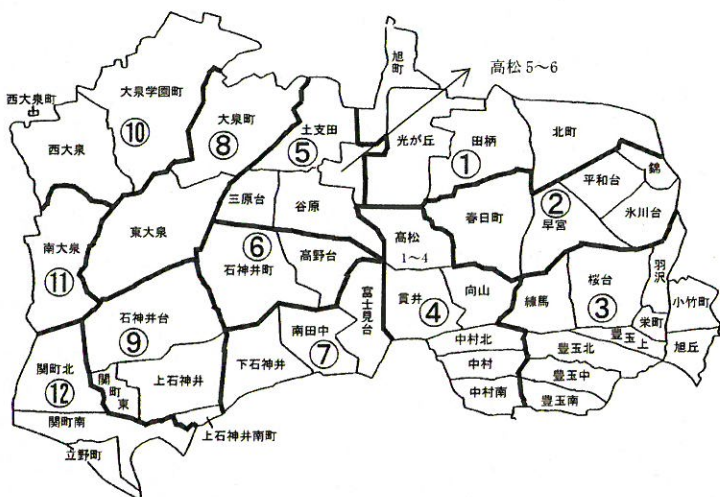
下図のとおり、練馬区を12の地域に分け、文化財保護推進員の担当区域としています。

各推進員は、担当する地域の文化財の巡回や調査を行い、保存状況等の把握に努め、文化財の保護・保存のための活動をしています。巡回の際には、文化財所有者の方に文化財の現状についてお話を伺ったり、文化財のご近所にお住まいの方に、情報収集をさせていただくこともあります。

これらの活動成果は、年3回開催している、文化財保護推進員連絡会で報告され、区では文化財の現在の状況を把握し、必要に応じた対応を行っています。

これらの活動以外にも、区主催の文化財関連事業への協力を通して、文化財の保護、普及に努めています。

区民の皆様が、区内の文化財に関心を持たれるとともに、文化財保護推進員の活動にご理解とご協力をいただきますようお願いいたします。



①伊藤義夫



②飯田静江



③八巻孝夫



④平田英二



⑤鷲田芳夫



⑥須賀頼子



⑦岩崎秀男



⑧徳川達子



⑨長坂淳子



⑩相澤博子



⑪松下真理



⑫越章夫

新刊の紹介

『練馬区の文化財 指定文化財編』を刊行しました。練馬区指定文化財45件、および区内所在の国・東京都指定文化財11件の概要を紹介しています。

A5判・62頁 五〇〇円

○販売・閲覧

区民情報ひろば

(練馬区役所西庁舎1階)

石神井公園ふるさと文化館

(石神井町5-12-16)

※区立各図書館でも閲覧できます。

